

# れいめい

社会福祉法人三山黎明会 〒371-0056 前橋市青柳町 983-1  
 まほろ TEL027-233-2561 / FAX027-233-2560  
 らいず TEL027-260-1900 / FAX027-233-2588  
 サニーズマーケット TEL027-212-8301 / FAX027-212-8302  
 アペリア TEL027-219-1133 / FAX027-233-2588  
 ホームソレイユ/ホームあおぞら TEL027-260-1900(らいず内)

## ～三山黎明会の防災計画について～

まほろ施設長 茂木厚志

30年続いた「平成」が終わり「令和」になりました。「平成は戦争のない平和な時代だった」と新聞などでよく見聞きます。その一方で自然災害はとても多い時代でした。「阪神・淡路大震災」「新潟中越地震」「東日本大震災」「熊本地震」「北海道地震」などの大地震や、「雲仙普賢岳の火砕流」「御嶽山の水蒸気爆発」などの火山噴火、群馬においても草津白根山や浅間山の噴火がありました。また「豪雪」による交通等ライフラインのストップは毎冬どこかで発生し、前橋でも平成26年に1m近くの積雪があり、まほろではビニールハウスの倒壊の被害がありました。このところ「台風」や「集中豪雨」による風水害や土砂崩れが頻繁に各地で発生していて、つい最近も「台風15号」が関東沿岸部を直撃し、鉄道等交通網の大混乱や広域にわたる深刻な住宅被害等が発生しました。また千葉県などでは断水や停電の復旧遅れによる二次災害も発生しています。「群馬県は災害が少ない」という安全神話を耳にした方もいらっしゃると思いますが、決してそんなことはなく、いつどこで何が起きても不思議ではないように感じます。特に「集中豪雨」や「台風」は地球温暖化の影響が最近では大型かつ数多に発生しています。統計的にも日降水量100mm以上や200mm以上の降水が発生する日数は増加傾向にあり、自然災害につながる可能性が増えているとのことです。

昨年6月に前橋市の障害福祉課が福祉施設の関係者を集め「水防法及び土砂災害防止法における避難確保計画の作成にむけた説明会」が開催され、そのなかで前橋市の「洪水・土砂災害ハザードマップ」が公開されました。まほろとらいずの所在地は赤城白川が氾濫した場合、50cm未満の浸水区域に想定されており、「避難確保計画」を作成し市に提出するよう言われました。サニーズマーケットやホームソレイユ、ホームあおぞらは、所在地での浸水の想定はない場所でしたので避難計画の提出は不要でした。

「避難確保計画」の内容は、避難場所の設定、避難ルート・移動手段、情報収集・伝達方法、施設の設備などを決定し、定期的に訓練を実施することになります。大雨が降り続き、赤城白川の洪水注意報（警戒レベル1）が発表されたら、洪水予報等の情報収集を行います。警戒レベル「2」になったら、高台のらいずの2階へ一時避難し、「3」になったら避難場所の「時沢小学校」に、送迎バスやミニバンなどを使って、上武道路から赤城県道を通して避難を開始する計画になっています。また、避難訓練も春の「火災訓練」と秋の「地震訓練」の後に、水害を想定して小規模のグループでらいずの2階へ避難する訓練を追加しました。

今まで「注意報」や「警報」や「避難勧告」「避難指示」と分かりにくい気象庁の発表でしたが、この度、警戒レベル「1」から「5」の数字に変わり分かりやすくなりました。一般には警戒レベル「3」で準備し「4」になったら避難となりますが、我々福祉施設の場合は「2」で準備、「3」で避難になります。

「群馬県は災害が少ない」という過信こそが最も危険です。各ご家庭でもいろいろな災害を想定し備えてみてはいかがでしょうか。災害情報の収集・伝達方法の確認、避難場所と避難ルートの確認、災害後3日間の水や食料などの用意、家族構成を地域の民生委員やご近所さんなどに伝えておく、等々、そういった防災の準備をしておき新しい「令和」の時代を安心して安全な時代にしていきたいですね。



## ～楽しかったカラオケ～

ホームソレイユ世話人 吉田ユカリ

ホームソレイユでは4月12日(金)に、ホーム利用者さんとカラオケに行ってきました。昔のなつメロや、その当時のアイドルグループの歌や、この歌は??? (笑)など、いろいろどりの歌を唄われ、お菓子や飲み物や、一番の楽しみの食事など自分の好きなものをオーダーしました。歌って、踊って、食べて、エンジョイすることができました。週の終わりの金曜日でしたので、作業や活動がんばった後であり、リラックスできてよかったと思いました。

皆さんの楽しそうな笑顔を見ていると、リフレッシュしてすごく楽しんで頂けたようでした。そろそろ次のイベントを皆で相談する頃です。選考基準はもちろん「みんな楽しんで！」ことです。



## ～ホームあおぞらの支援～

ホームあおぞら支援員 小沼紀子

ホームあおぞらは現在6名の方が生活しています。ホームでの生活は、まほろやらいずの日中活動から帰って来たら「お茶の時間」から始まります。皆さんでお茶を飲み、時には果物やお菓子を食べながら、「今日は公園に散歩に行ったよ」とか「今日の作業は をがんばりました」などの報告やお話しをします。その後は「自分の時間」で、テレビを観たりパズルをしたり本を読んだり、夕食まで好きなことをして過ごします。そして「夕食タイム」。皆さんで「いただきます」をして食べ始めます。その日のメニューが大好物のとき笑顔で食べている姿を見ていると、とても幸せに感じます。また、生活をされている方の誕生日には、食後にケーキを食べ皆さんでお祝いをしています。他にもクリスマスのおときはピザなどを食べカラオケもして楽しんでいます。夕食後は順番に入浴を済ませ、就寝までゆっくり過ごしています。そして朝。朝食後はそれぞれ仕度を済ませバス停まで歩き送迎バスに乗って日中活動へ元気に向かいます。

まだまだ伝えきれないことがたくさんありますが、以上がホームあおぞらの生活の様子です。時には忙しく、時には楽しく、皆さんと生活をご一緒することで日常の何気ない行動や表情に、毎日ほっこりしてお手伝いしています。



## ～まほろの取り組み「ノウフク」～

まほろ支援員 糸井 綾

ここ近年、群馬県で工賃向上の目的のために取り組み始めた「ノウフク」(農福連携といいます)というものがあります。「働き手が欲しい農業」と「働く場を求める福祉」の両方のニーズを合致した取り組みです。まほろでもH27年から、近隣の農家の方から依頼を受けて、現地にお伺いして作業するかたちで参加しています。作業内容も増えてきて、枝豆の種まき、枝豆の袋詰め、キャベツの定植、ほうれん草の袋詰め、ニラの畑の整理、畑の除草作業、キュウリの芽かき、ハウス片付け、花植え用土入れなどがあります。初めて行く場所や作業など戸惑うこともあり決して簡単ではありませんが、新しい「体験」を学びつつ、自分たちの働きを時給という評価をされることで作業に対して責任感というものが出てきているように感じています。メンバーの頑張りが認められ、作業の依頼が増えた事に繋がっています。「まほろさんに仕事をお願いしたい!」「助かったよ」「頼んで良かった」と言ってくれる農家の方からの評価はとてうれしくメンバーのやる気に繋がっています。大変なことも多いけど、

農業 + 福祉

どんな仕事にも達成感に満ちた表情で帰ってきます。  
ノウフク連携...参加して良かった!と思います。これからもメンバーと一緒に頑張っていこうと思います。

ノウフク

## ～らいずの活動報告「電車体験」について～

らいず支援員 角田美奈

らいずでは社会性向上を目的とした活動のひとつとして、年に数回、グループでの「電車体験」を取り入れています。活動の流れとしては、まず車で前橋駅へ向かい「みどりの窓口」にて切符を購入します。そして切符を手に取り職員を手本に改札口を上手に通ります。電車に乗るとソワソワと嬉しそうに外の景色を眺める方や、少し緊張気味に座っている方もいて微笑ましいです。高崎駅に着き、近くにあるお店で昼食となりますが、メニュー表を見て「何を食べようかな？」と、らいずの仲間との外食も楽しみのひとつです。帰りはおみやげを買います。自分で選んだ物を、用意したおこづかいから自分で支払いをし、ちょっとした買い物体験も兼ねています。帰りは、行きとは違い緊張もほぐれ、満足された様子うかがえます。私自身も同行させていただいたことがあります。利用者さんは乗り物が好きな方も多く、皆さんの笑顔がたくさん見られとても嬉しくなります。これからはらいずでは、電車体験の他にも一人ひとりに合った様々な活動に取り組んでいきたいと思えます。



電車体験の様子

## ～サニーマーケットの作業に対する取り組み～

サニーマーケット支援員 山田遼太郎

サニーマーケットが開所して今年で7年目になりました。サニーマーケット開所時の主な作業は「野菜の小分け作業」と「たまねぎの皮むき作業」の2種類でしたが、様々な企業や生産者の方との関わりを経て作業種が増えてきており、最近ではキクラゲを調理キット用に加工する作業や乾燥納豆の袋詰め作業などが新たに加わりました。こうした新しい作業に取り組むとき、多少戸惑う利用者の方もいますが、回数を重ねるたびに手順を理解しコツを掴むことで作業スピードや仕上がりの完成度が上がっていきます。それでも作業量が多いと作業時間内に終わらない場合があり、そんなときは、清掃の時間を返上して利用者の方と職員が一丸となり作業に取り組めます。こういった積み重ねが企業や生産者の方の「サニーマーケットならやってくれる」という信頼に繋がり、また次の新たな作業へと繋がっていきます。それと同時に作業種が多いほど利用者の方の「サニーマーケットは仕事をする場所」という認識が強くなり、作業意欲の向上にも繋がります。このようにサニーマーケットは「作業量・作業種」と「利用者の方の意欲」が非常に良い関係にあると感じています。これからは新たな取り組みに挑戦し、サニーマーケットの作業種をさらに充実させていきたいです。



キクラゲ加工作業

## ～相談支援事業所アベリアより～

アベリア相談支援専門員 舘野真生

相談支援が始まり6年目を迎えようとしています。相談者も、三山黎明会を利用している方、地域にお住まいの方、在宅で過ごす方、小学生、特別支援学校の学生など多岐にわたるようになってきました。ここ数年、相談内容も親亡きあとについて考えていきたい、成年後見人制度について知りたいなど将来に向けての相談が増えてきました。今後もサービス等利用計画を作成する際の聞き取りの中から本人がどのような生活を望み、どのような人生を歩んでいきたいのか家族と共に考えて行きたいと思えます。計画作成時には生活の中で夢中になれる事、好きな事、得意な事、日中の過ごし方、余暇の過ごし方などの情報を得ながら、本人の意向や希望をくみ取り総合的な援助方針を示していき家族を含めた各サービス機関で連携しながら支援を行っていきたくて考えておりますので引き続きよろしくお願ひします。

## 本部事業報告（平成30年度事業報告）

| 日付             | 項目      | 内容  |
|----------------|---------|---|
| H30<br>5 / 23  | 法人内部監査  | 1.平成29年度会計執行状況<br>2.平成29年度施設運営状況<br>3.平成29年度有機栽培申請に係る内部監査                                   |
| H30<br>5 / 30  | 第1回理事会  | 1.平成29年度事業報告について<br>2.平成29年度決算報告について<br>3.平成29年度内部監査報告について<br>4.就業規則見直しについて                 |
| H30<br>6 / 16  | 第1回評議員会 | 1.平成29年度事業報告について<br>2.平成29年度決算報告について<br>3.役員報酬規程見直しについて                                     |
| H30<br>11 / 28 | 第2回理事会  | 1.平成30年度第1次補正予算について<br>2.各種規程見直しについて  |
| H31<br>3 / 27  | 第3回理事会  | 1.平成30年度第2次補正予算について<br>2.平成31年度（令和元年度）事業計画について<br>3.平成31年度（令和元年度）当初予算について<br>4.処遇改善事業実施について |

社会福祉法人三山黎明会ホームページのご案内（法人情報を公開しています）

法人の詳しい事業内容等がご覧になれます

<http://www.mireimei.or.jp/>

～れいめい祭を振り返って～ 令和元年度れいめい祭実行委員 まほろサービス管理責任者 畑村安信

2019年、平成から令和と元号が代わった5月、「第27回れいめい祭」が25日（土）に開催されました。れいめい祭は毎年この時期に開催され、地域との交流の場として賑わいを見せています。

実行委員として法人の各施設の担当職員と定期的に打合せをおこない、出店の食べ物、レイアウト、係り分担などを話し合いました。今年は6団体様に参加していただきました。藤岡より『群星天（沖縄琉球太鼓）』太鼓の音に合わせて整ったリズムと迫力の演舞と獅子舞、最後は利用者とコラボしてミルクムナリ（沖縄エイサー）を踊っていただきました。青柳町より『青柳町八木節保存会』ザ！上州！「はぁ～」と小気味良いリズムと踊りに心が躍ります。地域より『田口町フラ』なんとも言えぬフラダンスのほおんわかしたリズムにリラックス。『前橋アコーディオンサークル』懐かしの音と共に歌声を満喫。『栄会』日本舞踊とは言いつつ結構動きが激しいのね！東京からの参戦もありました『ビックバック』迫力満点のバンド演奏で観客を魅了。その他、もちろん各事業所から利用者の出し物、じゃんけん大会も行われました。あっという間の4時間でしたが、参加して下さった各団体様、ご来賓ご来場の皆様、協賛して下さった各企業様、ボランティアで参加して下さった学生の皆様、そして各事業所の職員の皆様、お疲れ様、そしてありがとうございました。今年は天気も良く、とても暑い日でしたが「来年はどんな祭りになるのかな？」と、もう次回に向けた期待の声もいただきました。皆さまのご参加、ご協力に感謝するとともに、次回に向けてのご協力をお願いします。



これからも地域に根差した法人、施設として皆様と共に歩んで行けたらと思います。